

○財団法人 吹田市文化振興事業団設立趣意書

（昭和59年11月1日）

吹田市は、みどり豊かな北摂山系を背景に千里ニュータウンの建設、日本万国博覧会の開催を契機に国立民族学博物館、国立国際美術館、大阪府立国際児童文学館等の文化施設が設置され、また多くの大学、研究機関を擁する文化の薫りたかい国際的文化都市として注目を集めてきました。

“すこやかで心ふれあう文化のまち”づくりを基本理念とする本市においては、このたび市民の幅広い文化的欲求の高まりのなかで待望の「吹田市文化会館」を昭和60年4月1日に開館する運びとなりました。

この文化会館は、文化に対する市民各層の意向を反映しながら管理運営することが要請され、また施設の特異性として照明、音響等に熟練した専門技術が必要となりますが、本来の行政事務では、文化会館の特異性、専門性に必ずしも適確に対応し得ないものがあります。

したがって、吹田市から委託を受けて、文化会館の効率的な管理運営を行い、あわせて芸術性の高い自主文化事業を行うことによって、市民の文化活動の振興を図り、個性豊かな地域文化の創造に寄与することを目的として、ここに財団法人吹田市文化振興事業団を設立しようとするものであります。

昭和 59 年 11 月 1 日

設立代表者

吹田市長 榎 原 一 夫